

作成日 2025 年 10 月 15 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : PMR99
会社名 : 鹿島道路株式会社
住 所 : 東京都文京区後楽 1-7-27
電話番号 : 03-5802-8014
ファックス番号 : 03-5802-8045

2. 危険物有害性の要約

GHS 分類

物質又は混合物の分類

生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 1A
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1
区分 1 呼吸器, 呼吸器系, 腎臓, 免疫系	

絵表示



注意喚起 危険

危険有害性情報

H341-遺伝性疾患のおそれの疑い
H350-発がんのおそれ
H372-長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害

注意書き

・常温のストレートアスファルトは GHS 危険有害性分類には非該当であるが、加熱時に発生するミスト/煙/蒸気/ヒューム等には有害性が指摘されている。

注意書き-(安全対策)

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸引しない。
- ・防塵マスクを着用すること。
- ・取り扱い後はよく手を洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

注意書きー(応急措置)

- ・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

3. 組成、成分情報

単一品・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：アスファルト 及び 骨材 添加剤

危険有害成分

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材(石英含む)	添加剤
濃度または濃度範囲	30～40%	60～70%	1.0%以下
化審法 No.	(9)-1720	---	非開示
CAS No.	8052-42-4	天然物	非開示
PRTR 法	非該当物質	---	非開示
労働安全衛生法	通知対象物	---	非開示

4. 応急処置

吸入した場合：気分が悪い、呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡し診断・手当を受ける。

皮膚に付着した場合：水と石鹼で付着力所を洗浄する。皮膚刺激または発痒が生じた場合は、医師に連絡し、診断・手当を受ける。

眼に入った場合：眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。目の刺激が持続する場合、医師に連絡し診断・手当を受ける。

飲み込んだ場合：口を水ですすぐ。気分が悪い場合は、医師に連絡し診断・手当を受ける。

5. 火災時の措置

消化方法：初期火災には粉末消火器、乾燥砂などを用いる。

消化剤：着火した場合は、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂が有効である。消化に棒状の水を用いてはならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：漏出の可能性がないため、特になし。

環境に対する注意事項：漏出の可能性がないため、特になし。

7. 取り扱い上及び保安上の注意

技術的対策：接触、吸入の恐れがある時は保護具を着用する。

作業後は、手洗い・洗顔・うがいを励行する。周囲での火気の使用を厳禁する。

安全取扱注意事項：熱源・火花・裸火との接触、及び水濡れを避ける。

保管：日光の直射を避け、屋内冷暗所で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：換気に注意する。

暴露限界：

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
日本産業衛生学会 許容濃度	未設定	0.03mg/m ³ (吸引性結晶質シリカ)	---
管理濃度 作業環境評価基準	未設定	---	---
米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)	TWA: 0.5mg/m ³	TWA: 0.025mg/m ³	---

保護

呼吸器の保護具：状況に応じて有機ガス用防毒マスクを着用。

手の保護具：耐油性保護手袋を着用。

目の保護具：保護眼鏡、ゴーグル又は防災面を着用。

皮膚及び身体の保護具：静電気防止用長袖作業衣・安全靴等を着用。

9. 物理及び化学的性質

物理的状态：常温時、黒色で粘着性のある固体

揮発性：常温ではなし。

pH値：8.50～9.50

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲：軟化点>100℃、沸点>350℃

引火点：>260℃

発火点：約480℃

密度：2.00g/cm³(15℃)

溶媒に対する溶解性：水に不溶、有機溶剤に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性：常温においては安定。

特定条件下で生じる危険な反応

避けるべき条件：高温と直射日光、熱、炎、花火、静電気、スパーク。

常温のストレートアスファルトは GHS 危険有害性分類には非該当であるが、加熱時に発生するミスト/煙/蒸気/ヒューム等には有害性が指摘されている。

その他の危険情報：特になし

11. 有害性情報

急性毒性：

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
経口LD50	5000mg/kg(rat)	---	---
経皮LD50	2000mg/kg(rabbit)	---	---
吸入LD50	2000ppm(rat) 4.5h(vapor)	---	---

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
急性毒性(経口)分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---
急性毒性(経皮)分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---
急性毒性(吸入)分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---

皮膚腐食性/刺激性

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
皮膚腐食性/ 皮膚刺激性分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---

眼に対する重篤損傷性//目刺激性

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
重篤な眼損傷性/ 刺激性分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
呼吸器又は 皮膚感作性分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---

生殖細胞変異原性

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
生殖細胞変異原性 分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---

発がん性

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
発がん性分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---
IARC	Group2B(フュームとして)	Group1	---

生殖毒性

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
生殖毒性分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---

誤えん有害性

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
誤えん有害性分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	---

12. 環境影響情報

生態毒性

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
藻類/水生植物	---	---	---
魚	---	LL0: > 10,000mg/L 96h	---
甲殻類	---	LL50: > 10,000mg/L 24h	---

その他のデータ

化学名又は一般名	ストレートアスファルト	骨材	添加剤
水生環境有害性 短期（急性）分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく
水生環境有害性 長期（慢性）分類根拠	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく	NITEのGHS分類に基づく

13. 廃棄物上の注意： 容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。

14. 輸送上の注意： 火気等との接触を避ける。

陸上輸送： 法規に該当しない。

海上輸送： 船舶安全法に該当しない。

航空輸送： 航空法に該当しない。

15. 適用法令

国内法規(アスファルト)

消防法	3,000kg以上の場合、指定可燃物
毒劇及び劇物取締法	非対象
労働安全衛生法	表示対象物(通知対象物)、皮膚等障害化学物質等
化審法	既存化学物質
危険物船舶運送及び貯蔵規則	常温では非危険物
航空法	常温では非危険物
海洋汚染防止法	油分排出規制
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非対象
水質汚濁防止法	油分排出規制
大気汚染防止法	非対象
悪臭防止法	非対象

国内法規(骨材)

労働安全衛生法	表示対象物(通知対象物)、がん原生物質
---------	---------------------

国内法規(製品)

消防法	3,000kg以上の場合、指定可燃物
毒劇及び劇物取締法	非対象
労働安全衛生法	
表示対象物(通知対象物)	アスファルト
皮膚等障害化学物質等	アスファルト
がん原生物質	骨材
化審法	既存化学物質
危険物船舶運送及び貯蔵規則	常温では非危険物
航空法	常温では非危険物
海洋汚染防止法	油分排出規制(アスファルト)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非対象
水質汚濁防止法	油分排出規制(アスファルト)
大気汚染防止法	非対象
悪臭防止法	非対象

16. その他(引用文献等)

JIS Z 7250:2000 化学物質等安全データシート(MSDS)―第1部:内容及び項目の順序(日本規格協会)
労働安全衛生法 MSDS対象物質全データ(化学工業日報社、NITE: 独立行政法人 製品評価技術
基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
有機溶剤作業者の健康管理のすすめ方(中央労働災害防止協会)他

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。

ここに記載された情報は、現時点で正確なものと考えられますが、危険・有害性の評価は完全なものではなく、新知見によって改訂されることがあります。

取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた、適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。

本製品安全データシートの記載内容は情報提供であって、安全を保証するものではありません。